

2024

常葉大学のご紹介

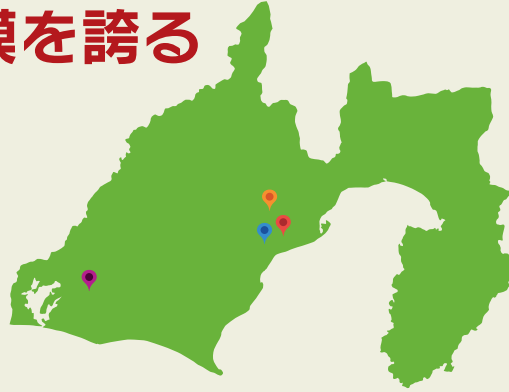
常葉大学の教育力 - 未来を生き抜く人材養成をめざして -



“Beyond the Limits” を合言葉に、あらゆる枠組みを超え、
限界も、境界線もない、無限の可能性を信じて、
未来に向けてチャレンジしていきます

静岡県最大規模を誇る 私立総合大学

大学 **10** 学部 **19** 学科
大学院 **4** 研究科
短期大学部 **3** 学科



キャンパスの数
4 キャンパス



● 静岡草薙キャンパス ● 静岡瀬名キャンパス
● 静岡水落キャンパス ● 浜松キャンパス

学生数

7,748 人

大学7,255人、大学院38人、短期大学部455人



2023年5月1日現在

男女比

48:52

大学51:49、大学院:50:50、短期大学部8:92

男 **48** 女 **52**

2023年5月1日現在

静岡県内入学者の割合



2023年5月1日現在

卒業生数

約 **72,000** 人

大学、大学院、短期大学部の合計



2023年3月末現在

専任教員数

353 人

大学 321人
大学院 7人
短期大学部 25人



2023年5月1日現在

教員一人あたりの学生数

約 **22** 人



2023年5月1日現在

図書館蔵書数

約 **64** 万冊



2023年5月1日現在

科研費採択状況

採択件数 **64** 件
75,140,000 円

(令和4年度、直接経費+間接経費)

就職率 (2022年度実績)

大学 **97.7%** 短期大学部 **96.3%**

静岡県内就職率 (2022年度実績)

大学 **78.8%** 短期大学部 **90.0%**

公務員合格者数

294 人

(地方独立行政法人を含む)
(2022年度実績)

2022年度
保育教諭就職者数

全国
第**1**位*

2022年度
学部系統実就職率

法学系 静岡県
商・経営系 第**1**位*

2022年度
警察官・消防官就職者数

静岡県
第**1**位*

2022年度
理学療法士 国家試験合格者数

北陸・東海
第**1**位*

2022年度
柔道整復師 国家試験合格者数

北陸・東海
第**1**位*

2022年度
はり師 国家試験合格者数

北陸・東海
第**2**位*

2022年度
きゆう師 国家試験合格者数

北陸・東海
第**2**位*

とこは未来6プロジェクトとは

一人ひとりが自らの可能性を見つけ、主人公として成長していく。それが MIRAI TOKOHA の描く未来地図です。この「MIRAI TOKOHA」(ユニバーシティ・ビジョン)を具現化するため、本学では「とこは未来6プロジェクト」を始動しました。「主役は学生」をモットーに社会人基礎力養成、課題解決型事業など、さまざまなプログラムを実施しています。この「とこは未来6プロジェクト」を通し、教職学(教員・職員・学生)が力を合わせて常に新しい学びを創造していきます。

1 MIRAIアクションプラン —未来を担う社会人基礎力養成プログラム—

学生が取り組むさまざまな地域貢献活動や社会貢献活動を大学全体で体系化し、経済産業省が掲げる『人生100年時代の社会人基礎力』となる、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)、前に踏み出す力(アクション)を育成できる活動を学生に提供します。学生は活動前後のチェックシートによって、「社会人基礎力」が身についたかを自己診断します。

なお、所定の活動を実施した学生には、「MIRAIアクションプラン認定証」(称号:とこはMIRAIフェロー)が授与されます。



1 MIRAI アクションプラン —未来を担う社会人基礎力養成プログラム—



2 とこは未来教育教職学協働事業

教職員と学生が意見を交換しながら、共に力を合わせて魅力的な大学をつくり上げることを目指します

3 とこは未来教育推進助成事業

学部・学科の特色ある教育の強化と個の多様性に適した学びを推進する事業を実施します

4 とこは未来教養講座

オンデマンド型講座を開講し、キャンパス・学部・大学・短大の垣根を越え、学生の誰もが幅広い分野を学ぶことを目指します

5 とこは未来塾 —TU can Project—

学生の「熱意と創意」に満ちた自主的・自発的なプロジェクトを支援し、学生の若い力を地域の活性化に結びつけることを目指します



6 とこは未来研究推進事業

教育研究の質の向上を図り、次世代の優れた若手研究者の育成や研究基盤の形成を支援します



建学の精神

より高きを目指して ～ Learning for Life ～

常に青々とした葉を繁らせ、純白な花を咲かせて黄金の実を結ぶ橘こそ、常葉の象徴。
美しい心を持ち、より高い目標に向かってチャレンジし、学び続ける姿勢こそ、常葉の精神。

教育理念

常葉大学(令和6年度から)

- 知徳兼備** 幅広い教養と高度な専門性を身に付け、総合的な判断力と豊かな人間性を備えた人材を育成する。
- 未来志向** 先見性をもって社会の課題やニーズをとらえ、いかなる苦難も乗り越え、主体的かつ創造的に行動する人材を育成する。
- 地域貢献** 地域社会や産学官と連携しながら、地域の発展及び新たな社会づくりに向けて率先して行動し、活躍する人材を育成する。

常葉大学短期大学部(令和6年度から)

- 知徳兼備** 幅広く深い教養と専門的知識・技術、豊かな情操を兼ね備えた人材を育成します。
- 未来志向** これからの社会のニーズに応えることのできる不屈の精神を持つ人材を育成します。
- 地域貢献** 地域社会の教育及び学術文化の進展に貢献できる人材を育成します。

本学の特色ある取り組み

「数理・データサイエンス・AI」教育の充実

デジタル時代の「読み・書き・そろばん」といわれる「数理・データサイエンス・AI」の基礎的な能力(リテラシーレベル)は、「Society 5.0時代」に活躍するには必要不可欠です。本学では、令和6年度から、これらに関する科目を教養教育科目に配置することで、全ての学生が1年次に基礎的な能力を修得できるようプログラムを提供していきます。また、令和7年度からは、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」への申請を予定しています。



「入試改革」ーリーダー育成型入試ー

本学では、地域・社会の課題解決を担うリーダーを育成するため、令和7年度入試から「総合能力入試(リーダー育成型)」を創設します。この入試では、大学院までを含めた一貫した学びの目標や将来への展望を抱いている学生、起業など各専門領域で新たなイノベーションを生み出すことを目指す学生などを対象に、入学後は学部学科ごとの人材育成プログラムを提供し、コアとなる学生を育成します。選抜試験は、令和6年10月を予定しています。

トコハ広報大使

学生広報チーム「トコハ広報大使」は、常葉大学及び常葉大学短期大学部の学生の中から募集・選考し、任命された学生で構成されています。本学のキャンパス情報や学生の活躍等について、学生の視点から主体的に発信することで、学内外に向けて本学の多彩な魅力を伝えることを目的としています。オープンキャンパス企画・運営、トコハ広報大使Instagramでの情報発信、学内外の取材、イベントへの参加等の活動を行っています。



「教育の常葉」の伝統の上に、 新たな教育課題に対応する 人材を育成します

幅広い教養と豊かな人間性を併せもつ、真の教育者を育成すること—それが教育学部の使命です。定評ある「学校教員」養成に留まらず、地域の学習・文化・スポーツ活動を支える「実践派の指導者」、確かな専門性と教育力をもつ「こころの専門家」など、時代が求める新しい教育職・対人援助職の育成にも力を入れています。

》学校教育課程*



小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員を養成する課程です。卒業生は、教員・学校事務職員、塾講師などの教育関連の他、金融、製造など幅広い分野の一般企業でも活躍しています。

》生涯学習学科



生涯学習・生涯スポーツ分野の支援人材を育成する学科です。卒業生は、学習・文化、スポーツ・レクリエーションなどの実践力を活かして、教員・公務員以外にも一般企業などで活躍しています。

》心理教育学科



こころの健康を支援できる人材を育成しています。卒業生は、カウンセリングなどの知識を活かして、福祉や医療などの分野で活躍する他、身につけたコミュニケーション能力を一般企業で活かします。

学修への支援

学校の先生になるには大学で単位を積み重ね、教員採用試験(教採)に合格する必要があります。学校教育課程と生涯学習学科では、課程・学科教員や外部講師等による教職支援プログラム、面接対策、実技指導等も実施しています。これらに加え、教職支援センターを中心に、教採対策講座、面接指導、合格者による「教採合格体験発表会」等が年間を通して実施されています。

生涯学習学科では、社会教育主事・司書・学芸員の資格取得支援及び生涯スポーツ関係職種への就職支援として、これらの資格取得者及びスポーツ関係職種に携わっている外部講師による講演、図書館・博物館の現場体験や職員との交流等が実施されており、学生の資格取得や就職を支援します。

心理教育学科では、公認心理師・認定心理士の資格取得支援として、取得に向けたプロセス説明、個別相談の実施、大学院進学や国家試験に備える授業が用意されています。また、心理学検定合格のためのガイダンスや個別指導も実施されています。これらに加えて、授業外・大学外での学びもサポートしており、学生の資格取得、大学院進学や就職を支援します。

目標とする資格・免許状

学校教育課程*

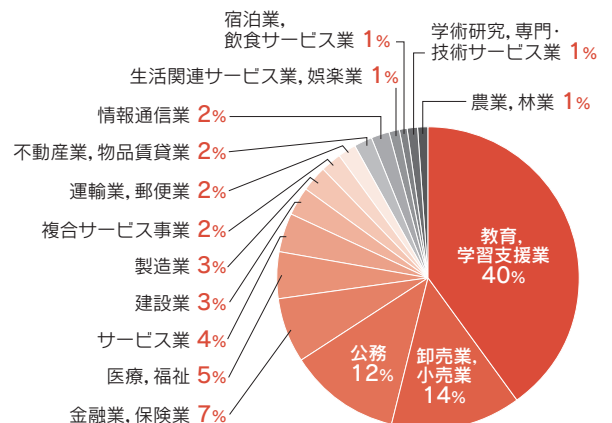
小学校教諭一種免許状／中学校教諭一種免許状(国語・社会・数学・理科・音楽)／高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・数学・理科・音楽)／特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)／学校図書館司書教諭 など

生涯学習学科

中学校教諭一種免許状(保健体育)／高等学校教諭一種免許状(保健体育)(いずれも生涯スポーツ専攻)／社会教育主事(任用資格)／司書／学芸員／レクリエーション・インストラクター／キャンピングインストラクター／初級パラスポーツ指導員／静岡県青少年指導者(中級)／赤十字救急法救急員

心理教育学科

認定心理士／認定心理士(心理調査)／公認心理師(国家試験受験資格には大学院修了または一定の実務経験が必要)



卒業生の就職実績(2022年度実績)

※ 2024年4月 初等教育課程から名称変更

世界の言語と文化をアクティブに学び、 地域の多文化共生に貢献できる グローバル人材を育成します

世界が複雑化し、地域が国際化するこれからの時代に鍵となるのは、言語と文化の理解、そしてお互いの違いを話し合いで乗り越えていくコミュニケーション能力です。外国語学部は、多彩なカリキュラムを通じて学生たちの言語の運用能力を磨き、異なる文化への理解を深めます。ビジネスリーダーや多文化共生の懸け橋として将来活躍ができるグローバル人材を育成します。

》英米語学科

英米語学科では、「世界共通語」である英語の力を総合的に高めます。少人数、レベル別授業の実施により、実践的な英語コミュニケーション能力を育成します。また、英語、英語圏文化・文学、異文化コミュニケーション、英語教育に関する知識を系統的、段階的に学び、専門的なゼミナールや卒業研究につなげます。「国際交流演習」科目では、英語を使ったボランティア活動などを推進します。英語教員免許状(中学校・高等学校一種)も取得可能です。



》グローバルコミュニケーション学科

グローバルコミュニケーション学科では、中国、台湾、韓国からのインバウンド観光客に対応できる中国語、韓国語、そして中南米系のコミュニティとつながることのできるスペイン語、ポルトガル語という静岡の地域事情に合致した四つの言語から二言語を選択して学習します。さらに、プロジェクト型学習の授業を必修で設け、周囲と協働できる社会人基礎力の育成や、学科独自のキャリア科目によるビジネスマナーの習得にも力を入れています。



▶ 学部共通科目

両学科に共通する科目として、観光業への就職を見据えた「観光英語」、仕事で使える英語表現を学ぶ「ビジネス英語」、航空業界の知識を得て現場体験を行う「航空ビジネス」、さらに「国際経済学」「会社法」「マーケティング」など、卒業後のキャリアに直結する科目を開講しています。また、日本語教員養成課程を履修することで、国内外で需要が高まっている日本語教員への道も開かれています。

学修への支援

両学科共通の支援

学生のニーズに合わせた3つの留学プログラム

- ①長期留学（8～10ヶ月）
- ②ショート留学（8週間）
- ③語学研修（4週間程度）

①②については成績上位者に奨学金を支給。*長期留学35万円～100万円、*ショート留学20万円

英米語学科での支援

- ①TOEIC/TOEFL対策:スコアアップのため、TOEIC検定料を補助し、年2回無料で受験可能(1～3年生対象)。長期留学の基準となるTOEFLのスコア取得支援も実施。
- ②英語教育海外研修:教職履修者を中心に英語教育に関する専門知識を現地の大学で学ぶ。
- ③常葉英語スピーチテスト/静岡県高等学校英語対話弁論大会:学生や県内高校生の英語力成果披露の場として、毎年開催されている。

グローバルコミュニケーション学科での支援

- ①とこは未来教育推進助成事業「国際派社会人育成プログラム」:①海外の大学生と現地で協働活動をする臨地実習(韓国・台湾)、②海外語学研修、③語学検定上級合格者に援助金を支給。
- ②多言語レシテーション大会:中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語の作品の暗唱を通して、高校生を含む出場者が表現力を競う大会が学生実行委員によって毎年開催されている。

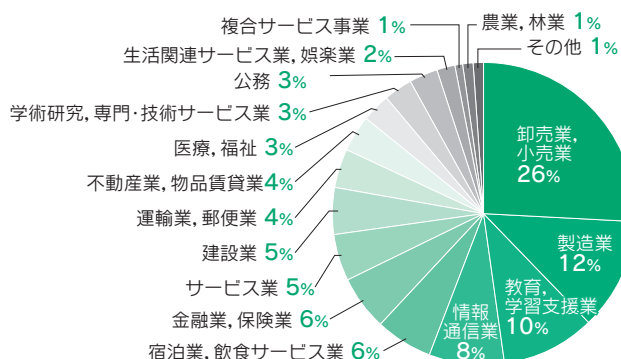
目標とする資格・免許状

英米語学科

中学校教諭一種目免許状(英語)/高等学校教諭一種免許状(英語)/
実用英語技能検定/TOEIC/TOEFL/日本語教育能力検定 など

グローバルコミュニケーション学科

スペイン語技能検定/中国語技能検定/ハングル能力検定試験/
外国語としてのポルトガル語検定試験(APLE)/
日本語教育能力検定/実用英語技能検定/TOEIC/TOEFL など



卒業生の就職実績(2022年度実績)

人・組織・社会を動かす 仕組みを学び、地域で躍動する ビジネスリーダーを育成します

本学部の使命は、時代の要請に応え、基礎理論、専門知識、そして実践力を修得したビジネスリーダーの育成です。4つの専門分野「経営」「会計」「情報」「経済」を学びの柱とし、さまざまなビジネスシーンに対応できる力を磨きます。

》経営学科

経営学部では、静岡・浜松2つの都市を拠点として、地域の社会課題である地域経済の活性化、および地方創生のために、経営学の基礎知識を習得し、得意の専門分野を伸ばすことで、果敢に課題解決を行っていく人材の育成を目指しています。そのために、本学部では4つの専門分野「経営」「会計」「情報」「経済」を学びの柱とし、理論と実践の両輪によって、人・組織・社会を動かす仕組みを学びます。

これらの取り組みにより、毎年、本学部の卒業生は静岡地域を中心に多様な業種・業態の優良民間企業から地方公務員、国家公務員に至るまで、幅広い分野に巣立っています。現在、官民間問わずデジタルを活用したビジネス革新で新たな価値を創出するDXが推進されていますが、本学部でもデジタル機器を使いこなし、情報・データを分析して客観的な意思決定を行い、新たな仕事を創り出す、そのような時代の要請にも応える教育を提供しています。



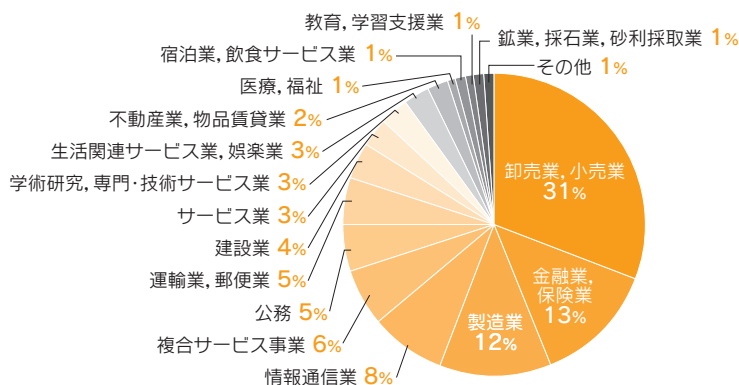
学修への支援

経営学部では、教育価値の向上、産官学連携の促進につなげるため、地域の企業・自治体連携のゲストスピーカー講義を開講しています。また、本学部の教員がコーディネータとなり、学外の方々も受講できる経営学部主催ウェビナーを開講し、地域社会との関係づくりを行っています。あわせて、各種資格取得等のためのキャリア支援を行っています。具体的には日商簿記検定、公認会計士、税理士、経営学検定、ITパスポート、日商PC検定、日本語教育能力検定、地方公務員採用試験、中国語検定などの講座開講や資格取得の支援を行っています。

県庁所在地の商業都市として発展した「静岡」と、ものづくりの街「浜松」。それぞれが地域の特性を活かし、伝統的な学科の強みとして力を入れてきた専門科目を、静岡草薙と浜松の2つのキャンパスをどちらか選んで学ぶことができます。

目標とする資格・免許状

高等学校教諭一種免許状(商業)／日商簿記検定1・2・3級／公認会計士／税理士／中小企業診断士／販売士／宅地建物取引士／ファイナンシャル・プランニング技能士／秘書技能検定／ITパスポート／日商PC検定／基本情報技術者／サービス接客検定／国内旅行業務取扱管理者／TOEIC／経営学検定 など



卒業生の就職実績(2022年度実績)

環境や防災の学びを深め、 公務員・教員・企業人として 活躍できる力を授けます

日本や世界が直面している、地球環境や防災を専門的に学ぶ全国でも数少ない学科として、環境、防災、地域問題などに精通し、地域並びにグローバルな視点に立った社会システム全体を考え、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成します。文系、理系を融合した幅広い視点に立ち、座学だけでなく豊富な実習・実験、フィールド調査を通じた実践的な学びを通して学生の幅広い興味に応え、多様な進路につながっていきます。

社会環境学科

環境・自然再生コース

理学・工学の視点から環境保護・再生について学び、人と自然との共生に関する知識と実践的な技術を身につけます。

・環境を守り再生する技術を知る

自然を再生する環境再生学、大地・大気・水などの特性を学ぶ地球環境学、環境汚染を把握する環境測定など理学・工学の視点から環境保護・再生を考えます。

・豊富な実習・実験を通して実践的に学ぶ

青木ヶ原樹海での植物調査や湧水の水質調査、マイクロプラスチック調査など、自然環境の調査と研究設備を使用した分析によって実社会で役立つスキルを形成します。



防災・地域安全コース

工学・社会科学の視点から地域の安全・安心に関わる防災や地域環境問題を学び、防災や地域の発展に寄与する知識・技術を身につけます。

・人の命と社会の安全を守る知識・技術

防災・減災などの、人の命と社会の安全に関する知識や技術を学びます。

・持続可能な社会を実現する

地域に即したテーマで、ヒトの視点から豊かな暮らしと次世代につなぐ持続可能な社会を実現するための社会の仕組みの構築について学びます。



学修への支援

▶ 教員採用試験対策支援

科目・分野に応じて過去の試験問題に基づいて教員が個別に指導しています。

▶ ピオトープ管理士資格取得支援 ※1

試験対策講座の実施、試験一括申請手続きのサポート、キャンパス受験の実施などを通して支援しています。

▶ 公害防止管理者資格取得支援 ※2

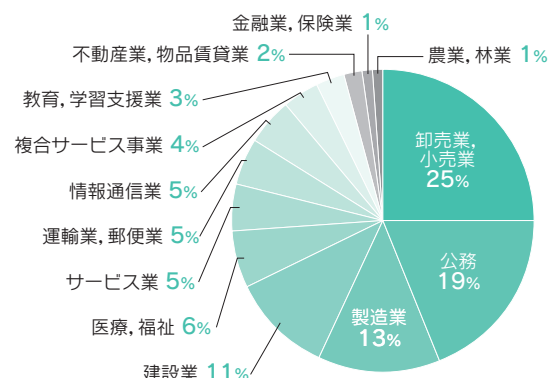
資格取得希望者に教員が試験対策指導を実施しています。

※1 自然生態系の保護に関する知識や、野生生物等の調査技術を証明する資格です。都市・地域計画、土木・造園、環境調査など環境に関する仕事をする上で重視されています。

※2 公害防止に関する法律や、汚染物質の測定、除去、管理技術を証明する国家資格です。化学工業、電気・ガス供給業、その他各種の製造業やメーカーで必要性が高い資格です。

目標とする資格・免許状

中学校教諭一種免許状(理科)(環境・自然再生コース)／
高等学校教諭一種免許状(理科)(環境・自然再生コース)／
公害防止管理者／ピオトープ管理士／環境計量士／防災士／
危険物取扱者／生物分類技能検定／ECO検定



卒業生の就職実績(2022年度実績)

未来を担う子どもの主体性を重視した保育を実現し、現代的保育課題の解決に向きあうことのできる保育者を養成します

豊かな人間性を備えた幼児教育・保育のリーダーを育てることを目標としており、毎年公務員保育者となって公立園に就職する卒業生も数十名輩出しています。保育士資格・幼稚園教諭一種免許状を有して保育専門職へと就職していく学生が主流であり、静岡県の保育界に大きく貢献していると自負しています。同じ目標を持つ仲間との学修・実習・探究を通して、深い教養と高い専門性を身につけます。

》保育学科

現代的な保育課題に向きあう保育学部

現代の保育は多くの課題を抱え、目まぐるしく動いています。また、保育者主導の保育から子どもの主体性を重視した保育への転換・推進がみられます。保育学部では課題に向かって解決の手立てを探ることができ、さらに子どもの主体性を重視した保育を実現できる保育者の養成を目指しています。



実習での豊かな経験

資格取得に必要な単位実習に加えて、1年次の体験実習、2年次の観察実習のプログラムがあり、1年生から4年生まで豊かな実習経験を積むことができます。就職を視野に入れた自主実習も学生個々の企画によって実施されています。



バラエティーに富んだカリキュラム

絵本論、ミュージカル制作などの多様な選択科目のほか、学生が主体となる課外活動も充実しており、保育実技サークル活動をはじめ、キャンパスでの自由遊び場プロジェクト、災害時の保育ボランティア、自治体と連携しての研究などに組みみなから、保育の実践力を身につけています。



保育界への大きな貢献

大半の学生が保育系を中心とした専門職に就職しています。幼稚園・保育所・こども園のみならず多様な福祉施設へも一定数が就職しており、卒業生の活躍によって各保育現場からの信頼も高まっています。



学修への支援

保育の基礎的科目を1年次から、専門的・実践的科目を2年次から導入し、3・4年次には研究関連科目を設定しています。1年次から少人数のゼミナールで学修・学生生活をサポートしていきます。学生は、多様な学びの分野から特に探究を深めたいゼミナールを選択し、自分の目標に合わせた学びを深めることができます。

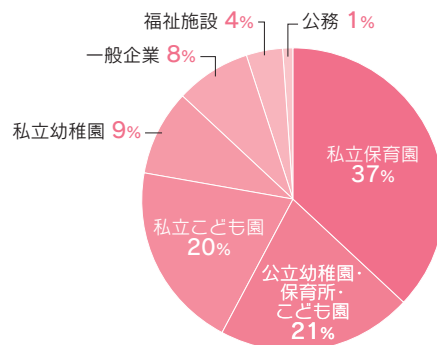
幼稚園教諭一種免許状・保育士資格を取得する学生には、その意欲や資質を踏まえて全教員が関わり、課題や不安を解決しながら到達まで手厚いサポートを行います。

認定給本土養成講座では、絵本に関する高度な知識・技能・感性を涵養するため、学内外から選ばれた専門家が講義を担当しています。

地域や保育施設での活躍が期待される「認定給本土」の育成にも力を入れています。

目標とする資格・免許状

- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格
- 認定給本土資格
- 小児救命救急法(小児MFA)資格



卒業生の就職実績(2022年度実績)

社会の課題に向き合い、 人々に喜びを届ける クリエイティブな人材を育成します

時代が求める新しい価値を創造する能力、これが造形学部の目指す人材です。デザインとアートの専門的な知識・技術と、クリエイティブな発想・姿勢を、多様な分野と授業によって培います。県内外の企業・団体との産官学共同研究や、地域の現場に赴いたプロジェクト活動を通して、社会に通用する学びを進めています。デザインとアートがもつ創造性を、社会や産業の現場とつなげ、新しい価値を生み出す人材を育成します。

造形学科

造形学部の専門教育では3つの領域を設定し、学生が「なりたい自分」を目指して科目を選択します。

デジタルコミュニケーションデザイン領域



デジタル技術を用いた設計と、人々の豊かな体験を構想する知識と技術を学びます。1)グラフィック、写真や映像、イラストレーションなどのコンテンツ科目、2)情報デザイン、UX/UI、サービスデザイン、ソーシャルデザインといった応用科目、3)社会や産業とつながるプロジェクト科目が連動し、企画、制作、提案ができる人材を育成します。

環境デザイン領域



環境を構成するモノ・コト・バのデザインを理論と実践により学びます。1)生活の中にある課題を発見し、ものづくりで解決するプロダクト系科目、2)よりよい住環境と地域環境を考え、ストック型社会を見据える建築系科目、3)社会や産業とつながるプロジェクト科目が連動し、立体と空間に関わる設計者、建築関係者を育成します。

アート領域



多様な表現と手法、それらによって生み出されるアート思考を、実践を通して学びます。1)油絵、日本画、版画などの絵画系科目、2)彫刻、インスタレーションなどの立体系科目、3)CG、写真、映像、デジタル技術などの現代メディア系科目が横断的に構成されています。また、4)美術教員、学芸員を目指す者も、この領域での履修を推奨しています。

学修への支援

▶ 教員免許状

教職支援センターと連携し、科目履修等の指導を行います。4年次の教育実習では事前事後指導を下級生も聴講することで教員を目指す姿勢を共に培います。

▶ 色彩検定、CG-ARTS 検定

色彩検定を団体受検とし、CG-ARTS 検定の認定教育校となることで、合否や関連資料の把握の他、書籍の割引等も行います。

▶ 二級建築士資格

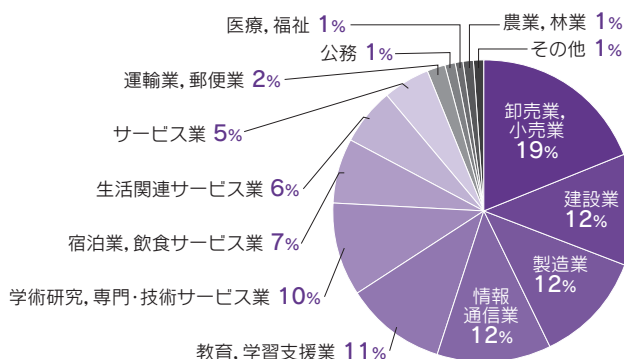
卒業後の合格を目指し、資格試験予備校と連携し、学生時代から国家試験への対応を可能にしています。

▶ デジタルクリエイティブオンライン講座

専門機関のデジタルハリウッドと連携し、クリエイター育成を行います。(ここは未来教育推進助成事業)

目標とする資格・免許状

中学校教諭一種免許状(美術)/高等学校教諭一種免許状(美術・工芸)/学芸員/二級建築士・木造建築士(卒業後実務経験0年)/インテリアコーディネーター/福祉住環境コーディネーター/色彩検定/CG-ARTS検定 など



卒業生の就職実績(2022年度実績)

法的知識を身につけ、 社会に貢献できる企業人・ 公務員を育成します

現在社会においては、日常生活から企業、自治体に至るまですべてが「法」に基づいて運営されています。

法学部では法的なものの考え方「リーガルマインド」と知識を備え、社会を支える人材を育成していきます。

法律学科

公共政策コース

グローバル化が深く進展する現在、地域で生きるこの意味はかつてとは大きく異なっています。

地域を知り、より良い社会を実現するため、日本を、アジアを、世界を知り、自らの地域の未来を構想し創り上げる市民社会の担い手を、自主的問題探求と対話型学習を重視したカリキュラムにより育成します。



法律総合コース

近年、様々なリスクにさらされている企業にとって、トラブルを予防することが重要な課題になっています。

法律総合コースでは、少人数教育と対話型学習を重視したカリキュラムによって、トラブルを未然に防ぐだけでなく事後に問題に対処できる法的素養を養います。



学修への支援

▶公務員試験対策講座

法学部の入学者のほとんどは公務員志望です。そこで、キャリアサポートセンターと協力し、公務員試験対策講座を実施しています。公務員試験には、教養科目と専門科目がありますが、課外講座は教養試験対策をメインです。専門科目は、ほとんどが法律科目ですので、憲法、民法、行政法、刑法など、法学部教員が授業と関連付けながら対策講座を行なっています。

▶ビジネス実務法務検定・対策講座

法学部開学当初からの講座です。1年次生を対象として、年間12回の課外講座によって、受講生のほとんどが3級に合格します。公務員試験や各種資格試験を受けるマイルストーンの役割を果たしています。

▶FP対策講座

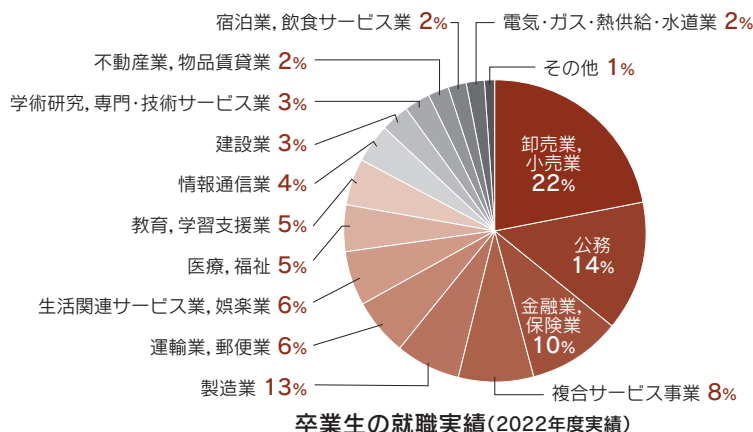
キャリアサポートセンターと協力し、FP3級の対策講座を実施しています。主として2年次生を対象とする、金融業に就職する上で有利な講座です。公務員に次いで、金融業への就職する学生が多いのは、この講座を受講した成果です。

▶知的財産技能実務検定・対策講座

法学領域の先端科目である「知的財産法」は人気の科目です。著作権や商標権など、最新の法領域の知識は、官庁や民間企業での活動に有用な知識です。授業と関連づけながら、試験対策を行なっています。

目標とする資格・免許状

司法書士／行政書士／宅地建物取引士／
ビジネス実務法務検定／知的財産管理技能検定／
ファイナンシャル・プランニング技能検定



地域で暮らす人々の 健康的な生活を支える 医療専門職を育成します

確かな「知」、豊かな「徳」を備えた看護師・理学療法士を送り出すことが本学部の使命です。関連病院と協力しながら、臨床実践力の高い看護師・理学療法士の育成を心がけています。

学部の特徴を生かし、チーム医療の実際や、各職種の役割を学びます。臨床実践の場で、他専門職を尊重し、協働できる人材を育成します。

≫看護学科

医療専門職として必要な基礎的能力を養いつつ、臨床と協力して、誠実に成長する学生を育成します。



≫静岡理学療法学科

医師、看護師など他職種と協働し、病院・在宅と幅広い場で活躍できる学生を育成します。



学修への支援

医療専門職に就く自覚を養い、国家試験受験資格を得て合格するために、1年次から少人数制ゼミ形式をとり、学習支援やメンタルサポートを行う体制を整えています。臨床実習では、実習施設スタッフと連携を取り、学習環境を整えています。また国家試験合格に向けて、4年間かけて学内模擬試験・集中講義など計画的に実施しています。

目標とする資格・免許状

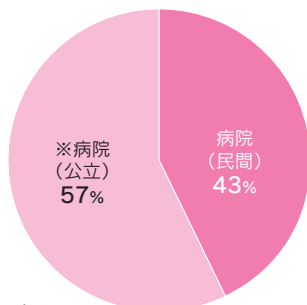
看護学科

看護師(国家試験受験資格)

静岡理学療法学科

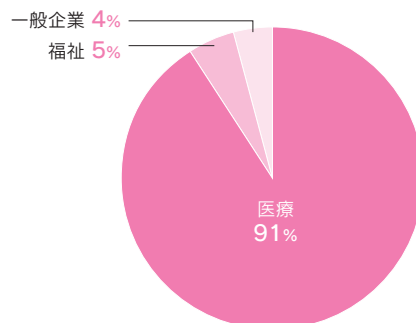
理学療法士(国家試験受験資格)

看護学科



※病院(公立)は、地方独立行政法人を含む

静岡理学療法学科



卒業生の就職実績(2022年度実績)

Quality of Life への理解と 人生の充実につながる健康づくりを 担える人材を育成します

人生の様々なステージにおける豊かな人生を送るために必要な「健康」について多くの知見を持ち、地域社会の発展に貢献できるような確かなサポートや指導が出来る人材育成が本学部の使命です。Quality of Life の諸課題と向き合う幅広い教養や多くの専門的な学びを通じて得られる知見が学生の成長を促し、地域社会に有意で活力のある人材の育成を目指します。

≫健康栄養学科

食生活を豊かにする知識や技術を人々の健康増進に活かすために、子どもから高齢者、健康な人および病気や障がいのある人々を対象とした食と健康について総合的に学びます。栄養や食を基盤とした健康増進の担い手として幅広いフィールドで活躍できる管理栄養士を育てます。

学修への支援

1・2年次は、国家試験を意識した専門科目の講義を進め、学習内容に不安がある学生は基礎教育センターの利用が可能です。3・4年次には、基礎・専門・応用の演習を設け、各年次に修得した授業内容の復習・定着を図ります。3年次末から4年次に模試を10回程度実施し、苦手分野の発見・克服に取り組みます。国家試験合格に向け、学科教員全員でサポートします。



≫こども健康学科

子どもの福祉や健康にかかわる科目のみならず教育学・法学・医学などの基礎理論を基盤に、実践的なカリキュラムのもと、時代の要請に応じた知識と技能、教養を身につけた幼稚園教諭・保育士を育てます。特に自然教育を柱として、豊かな人間性と実践力を備えた保育専門職を育成します。

学修への支援

徹底した少人数教育のもと、個人の学習進度に合わせて丁寧に学修支援を行います。各教科の学修のみならず、課外活動や実習現場においても個別指導・支援を重視し、学生それぞれの個性を大切にしながら専門性を磨いていけるように支援します。



≫心身マネジメント学科

「スポーツ」と「健康」をキーワードに、「身体」「心理」「社会」について学び、教育業界、スポーツ業界、福祉業界、一般企業などで活躍できる有為な人材を育てます。

学修への支援

教員採用試験（筆記試験、実技試験）対策を、教職科目担当教員と基礎教育センターが協働して行っています。また、アスレティックトレーナー、健康運動指導士、健康運動実践指導者等の資格においても、各資格に対応した専門科目担当教員が、正規の授業時間外に資格取得に向けて個別にサポートしています。



健康鍼灸学科

東洋医学の一つとして「鍼灸」は健康増進や多様な疾患に対応する治療法です。本学科では、健康、医療、スポーツ、美容、介護など、さまざまな分野で活躍できる次代の鍼灸師を育成します。現場の学びと地域貢献が両立できるボランティアサークル（SinQ）があり、大学附属鍼灸接骨院でも現場で必要な知識・技術・人間力を学ぶことができます。

学修への支援

国家試験対策は、ゼミ担当者による個別面談があり、少人数制のきめ細かな指導に加えて、定期的な模擬試験を実施しています。学生からの質問に対して、教員がオンラインを通じて回答するなど、休暇期間も含め随時受け付けています。国家試験当日は学科教員が引率して学生の体調管理やトラブル対応を行うため、安心して受験できます。



健康柔道整復学科

柔道整復学科では、運動器のケガに対して「医学的根拠をもった判断力と施術技能」を身につけるためのカリキュラムとなっています。そのため、4年次に独自の臨床能力試験にて学修成果を評価します。これらの技能を修得してもらうため、1年次から少人数教育による実技・実習を展開し、「きめ細かな」指導体制としています。

学修への支援

学生が主体となって自発的に学修に臨み、進路を考え、「自立した学修者」へと成長するためのサポートとして、入学時から指導教員が1名つき、学生生活を支援します。対話を重視し、単位修得や国家試験に向けた学修相談及び進路相談等を行います。国家試験に向けた取り組みは、3年次から本格化します。具体的には、3年次から学生の希望に応じて各ゼミに分かれ、臨床技能の修得、研究活動、国家試験対策などがスタートします。夏期や冬期休暇には国家試験対策講座を開講しています。4年次には年5回の模擬試験とその成績に基づく個別指導、グループワークによる問題演習、オフィスアワーを活用した勉強会などの方略で受験学力を高めていきます。



目標とする資格・免許状

健康栄養学科

管理栄養士(国家試験受験資格)／栄養士／栄養教諭一種免許状 など

こども健康学科

幼稚園一種免許状／保育士資格／ネイチャーゲームリーダー資格／こども環境管理士／幼児安全法支援員(日本赤十字社認定)

心身マネジメント学科

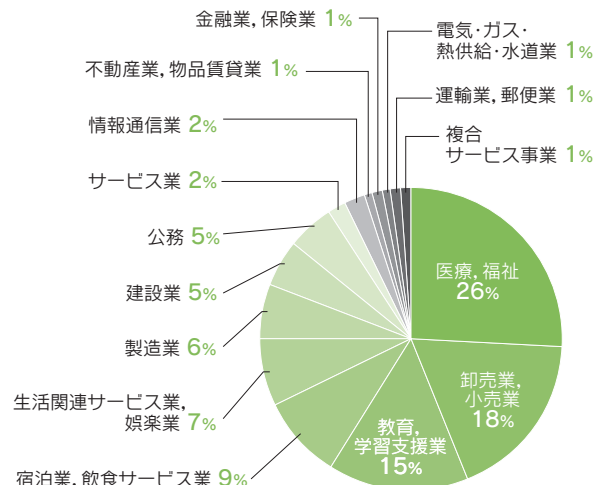
中学校教諭一種免許状(保健体育)／アスレティックトレーナー／健康運動指導士／健康運動実践指導者／初級パラスポーツ指導員 など

健康鍼灸学科

はり師(国家試験受験資格)／きゅう師(国家試験受験資格)／福祉住環境コーディネーター／社会福祉主事任用資格／日本化粧品検定／薬膳漢方検定

健康柔道整復学科

柔道整復師(国家試験受験資格)



卒業生の就職実績(2022年度実績)

実践力と対応力のある 理学療法士・作業療法士を 育成します

リハビリテーションの目的は対象者の生活の自立とともに生活の質を高めることです。リハビリテーション医療の専門家である理学療法士と作業療法士が連携してチーム医療を支えています。

本学部では2つの学科が協力して実践力と対応力のある理学療法士・作業療法士を育成し、地域のリハビリテーションに貢献することを目標としています。

》理学療法学科

理学療法は、運動機能が低下した状態にある人々に対し、「座る」・「立つ」・「歩く」などの機能の回復・維持を図る医療です。

理学療法学科では運動器系障害・神経系障害・内部障害などの領域に対応する検査技術を学ぶとともに、常に疑問をもち物事を論理的に捉えることができる理学療法士を育成します。また、医療職としての基礎力、専門家としての実践力と対応力を身につけます。



》作業療法学科

作業療法は、生活に必要な作業を通じて心身の機能回復や生活への適応を図る医療です。

作業療法学科ではその学問領域である身体障害、発達障害、精神障害、高齢期障害に対応する作業療法の検査技術や支援方法を学びます。そして、作業と病気・障害との関係、人と作業と環境との関係を理解し、支援に応用できる力を身につけます。



学修への支援

保健医療学部では、ICTを活用した以下の個別最適化教育を導入し、学生に対するサポート体制を整えています。

①フレッシュャーズセミナー、②学修の可視化、③学修到達度の確認、④個々の学生に合ったフィードバック、⑤個別最適化された臨床実習の展開

▶理学療法学科

理学療法学科における国家試験対策はグループ学習を中心に実施しており、学習方法・進捗状況・模試結果に関するアドバイスやトラブル対応など教員が常に関わっています。国家試験の合格実績は全国平均よりもはるかに高く、過去5年間は97%を上回っています。

▶作業療法学科

作業療法学科では、国家試験の合格率向上に向けて、1年次から国家試験を見据えた教育を授業内に導入するだけでなく、すべての学生に担当の教員を配置し、学生の学修状況を把握しながら学習指導を行っています。また、臨床実習では事前実習・事後実習を実施し、実践的な学びとなるよう支援しています。

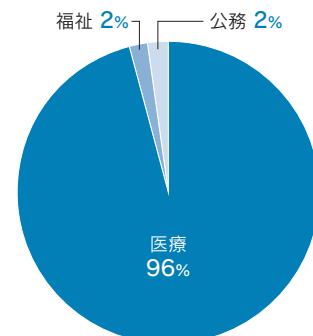
目標とする資格・免許状

理学療法学科

理学療法士(国家試験受験資格)／初級パラスポーツ指導員

作業療法学科

作業療法士(国家試験受験資格)／初級パラスポーツ指導員／福祉住環境コーディネーター



卒業生の就職実績(2022年度実績)

日本語日本文学科 「自主独行」の精神をモットーに、自分で考え行動する主体性のある人材を育成します。

「好き」を「力」に変える独自のカリキュラムで、文学や言葉に関する多彩な学びを通じ、社会人基礎力としての「読む・書く・話す」力を磨きます。また、本学科の中核に位置する言葉の表現力を土台としながら、視覚的・映像的な情報も駆使したコミュニケーションやプレゼンテーション技術、そしてICTの操作スキルも実践的に身に付けていきます。

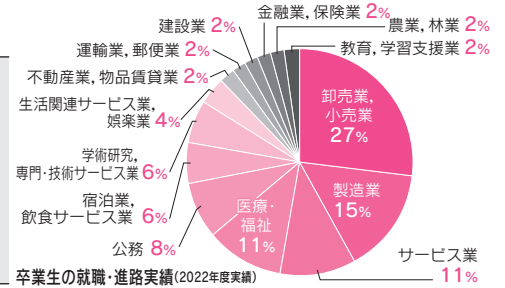
即戦力として社会で活躍できる人材を育てるため、書く力、読む力、コミュニケーション力、情報の効率的な収集・活用技術の向上等を目的とした科目を多く設けています。文学作品に親しみ、深い読解に取り組む「静的」な学びから、仲間とともに協力し課題に取り組んだり、地域の機関と共に講座を企画・運営したりする「動的」な学びまで、2年という短い期間だからこそ、集中的に力を育む幅広い学びを実践しています。



学修への支援

2年間で司書資格取得を可能にする「司書コース」を設けています（常葉大学教育学部開講の科目等履修生制度を利用）。キャリア支援課主催の公務員試験対策講座の受講も推奨し、公務員（司書）への道を後押ししています。

また、指定された専門科目において一定の成績を修めることで、人前で自信を持って話せる力を証明する「プレゼンテーション実務士」や組織の一員として活躍するための社会人基礎力の修得を証明する「実践キャリア実務士」を取得できます。さらに、日本文化にも精通した人材育成のため「きもの講師2級・3級」資格も取得可能です。



保育科 子どもを学び、子どもから学ぶ。現場で子どもと接する中で、子どもと共に成長する「共育力」を伸ばしたい！

学生一人ひとりの「保育者になりたい！」という温かい思いを大切に、2年間の集中的な学びで、「子どもをよく見て理解する力」、「子どもと一緒に生活を創る力」を伸ばします。保育を学ぶということは、自らの中に秘められた潜在能力を引き出していくことでもあります。子どもと共に自分自身の可能性を広げていくのが、短大保育科の学びです。

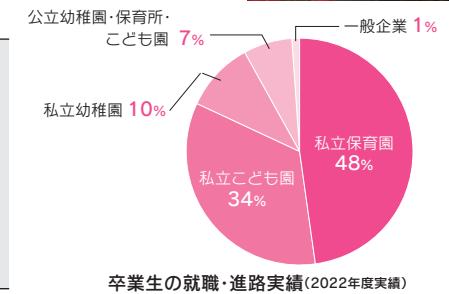
本学は、1966年の開学以来、今日までに多くの保育者を輩出し続けています。その多くは静岡県内で活躍しており、地域から高い評価を得ています。本学では、2年間で幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を取得できるため、最短で保育者になる夢を実現することができます。



学修への支援

短大保育科の特徴は、入学1年目から子どもに触れる機会が数多くあることです。「子ども学概論」や「実習事前事後指導」等では、観察したことを、保育の専門的視点と手順で文字化すること、それを他者に説明し議論することを大切にしています。言語化と対話は、保育職にとって欠かせないスキルですが、保育以外のさまざまな場面でも応用可能であり、保育を学ぶことで身につく汎用的スキルの一つです。

就職に向けては、保育科教員と、幼児教育支援センターの職員が、学生一人ひとりの思いを大切に、就職支援を行っています。進路ガイダンスや個別指導を通して学生に真に寄り添い、安心してはじめての一步を踏み出せるよう支援しています。



音楽科 音楽を学んだ人が人気の理由～「できるまでやる！」を音楽のチカラで。

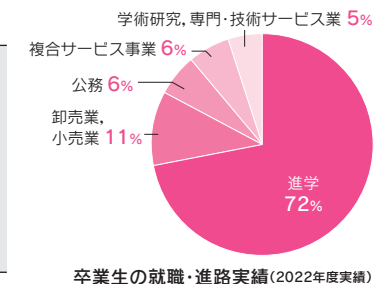
楽譜にできないことがあったら、できるまでとことん練習し続ける～そんな粘り強さが当たり前になっている音楽科の学生は、沢山の就職先からも人気があります。音楽のチカラで、生きるチカラを身につけ、皆さんの夢の実現を強力にサポートします。

音楽は、人生を豊かにしてくれる良き相棒であり、生涯、人間に欠かすことのできない栄養素といえるでしょう。音楽を人生の主軸に置き探求していきたいと考える人、或いは、豊かな趣味として生涯愛好したいという人など、学生たちの夢はさまざまです。音楽の学びを通して培った力が、卒業後に多用な形で「生きる力」として開花することができるようになるため、幅広い学修内容設定し、音楽教育を通して、個性に応じた人材育成教育を行っています。



学修への支援

- ▶ 合唱、吹奏楽、室内楽や伴奏演奏といった実演科目、音楽鑑賞や音楽史など知識を学ぶ科目、演奏会演奏やリトミック、企業研究などの社会人としての職業訓練に重きを置いた科目など、一人ひとりが「学びたいもの」をデザインできるよう豊富に科目を用意しています。
- ▶ 演奏や作曲は、個人レッスン形態で個々に合わせた課題を設定し、指導します。
- ▶ 将来、大学院進学や留学、そして音楽を生業に活動しようと考えている方にも、修得した技能を趣味として続けていきたい、授業で得た知識で新たな分野に挑戦してみたいという方にも丁寧に指導していきます。



目標とする資格・免許状

- 日本語日本文学科** 図書館司書（科目等履修生制度を利用）／プレゼンテーション実務士／実践キャリア実務士／きもの講師2級・3級（2024年度から）
- 保育科** 幼稚園教諭二種免許状／保育士／児童厚生二級指導員／レクリエーション・インストラクター／モンテッソーリ教師（本学認定）／ネイチャーゲームリーダー／小児救命救急法（小児MFA）
- 音楽科** リトミック指導1級・2級（外部試験）

実践的かつ先端的な研究で 社会課題の解決に貢献します

常葉大学では、知識をさらに深め、より高度な研究活動を行う場として、大学院を設置しています。現在、静岡草薙キャンパス、浜松キャンパスには専攻分野ごとに特色ある4つの研究科があります。

高度な専門知識と能力を持ち、現代社会の様々な課題を解決できる人材の育成を目指し、実践的な教育と先端的な研究に取り組んでいます。

≫国際言語文化研究科

グローバル化が進む地域社会の諸問題を、国際的な視野に立って多角的に検証し、その解決策を論理的に構築、提案できる人材の育成を目指して、以下の2つの専攻を設け、実践と理論の両面から教育、研究を行います。



英米言語文化専攻

国際語である英語を専門領域として高い英語運用能力を養うとともに、英語圏の言語、文化、文学や英語教育に関する専門知識とその応用力を備えた人材を育成することを目標としています。

※「中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）」を有する入学者は「中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）」が取得可能です。

国際教育専攻

国際化した地域社会の中で必要となるグローバルな見識を養うとともに、世界各国の文化・社会、国際理解教育、日本語教育、小学校教育に関する専門知識とその応用力を備えた人材を育成することを目標としています。

※「小学校教諭一種免許状」を有する入学者は「小学校教諭専修免許状」が取得可能です。

≫学校教育研究科※1

教職大学院

教育現場が抱える課題への高度な対応力と、より実践的な教育力を備えた教員の育成を図るために「理論と実践の融合」を目指し、小・中学校や教育機関と連携しながら教育・研究を行います。



高度教職実践専攻※2

現職教員学生は確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーとして、学部卒学生はより実践的な指導力・展開力を備えた新しい学校づくりの新任教員として養成します。

※修了者には専門職学位として「教職修士（専門職）」が授与されます。
※「小学校教諭専修免許状」が取得可能です。

▶経営実践コース

学校の内外でリーダーとしての役割を担うためのマネジメントに関わる知識・技能の修得を目指します。

▶授業実践コース

子どもの発達特性と教科の特性を生かした授業構築力と、子どもの個性の伸長を図る生徒指導力の育成を目指します。

※1 2024年4月 初等教育高度実践研究科から名称変更

※2 2024年4月 初等教育高度実践専攻から名称変更

≫環境防災研究科

地球温暖化に伴う気候変動による災害の激甚化や食糧危機など社会を取り巻くさまざまなリスクが顕在化している今日において、環境や防災の問題に特化した教育や研究指導を行い、高度な専門知識を備えた専門的職業人として、安全で持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材を育成します。



環境防災専攻

現代社会が直面している環境や防災の諸課題を解決するために、学際的な視点に立った研究・教育を行います。日本で唯一の「修士（環境防災）」の学位を取得できます。

▶防災分野

災害を自然科学・工学・社会科学といった多角的視点からとらえ、被災機構から回復過程までを総合的に解明する高度な専門的知識とマネジメント能力を持った人材を育成します。

▶環境分野

環境問題の解決を目指し、人間社会と地球環境が共生するための高度な専門知識やマネジメント能力を持った人材を育成します。

≫健康科学研究科

食・身体・こころのケアについて、先端的・実践的な教育研究を行い、保健・医療・福祉などの幅広い分野の課題に取り組むことで、生活の質の向上を提案できる知識と技術を備えた人材を育成します。



健康栄養科学専攻

実験科学をベースにした教育研究を通じて高度な専門知識を修得し、健康・食生活調査の手法を取り入れた地域住民の栄養管理など、臨床疫学知識も兼ね備えた職業人を育成します。さらに学生の興味に応じて、機能的食品分野などの研究者育成にも対応します。

臨床心理学専攻

徹底した臨床指導を通して、一流の心理療法家（カウンセラー）として社会で活躍する、優れた臨床心理士・公認心理師を育成しています。研究に関しても、実際の心理臨床現場で役立つ有用な研究能力を身につけられるよう指導します。

※(財)日本臨床心理士資格認定協会の第一種指定校として、大学院修了後に直近の臨床心理士資格試験を受験することができます。

就職支援体制

「未来の自分」を見据えて、自らの理想の仕事や生き方を描くことができるように、入学直後からのキャリア教育をはじめ、充実の支援プログラムで、学生のキャリア形成をサポートしています。

キャリアサポートセンター

就職や進学などへの心構えや進路相談、エントリーシート・履歴書の書き方、模擬面接など、就職活動に関することを実践的にサポートしています。個別の相談にも丁寧に対応し、寄り添いながら“夢”を実現しようとする学生を全力でサポートしています。



ゼミ教員、指導教員

“社会に貢献できる人材の育成”を目標に、教員が学生一人ひとりのスキルアップを支援しています。それぞれのキャリアビジョンに合わせ、学部・学科で身につけた知識や技術を活かせるよう、親身かつ的確な指導を行っています。

就職支援プログラム

インターンシップ・オープンカンパニー

企業や団体・官公庁での就業体験は、学生にとって仕事の現場を肌で感じることができる貴重な機会です。リアルな体験を通じて『社会で働くこと』に対する具体的なビジョンを明確にし、将来の自分をイメージできる『インターンシップ』や、多くの企業を知ることができる『オープンカンパニー』への参加を推奨しており、毎年多数の学生が県内外の企業や団体・官公庁でのインターンシップ等に参加しています。インターンシップやオープンカンパニーの募集案内は、各キャンパスのキャリアサポートセンターからメール等で学生に配信し、自由に閲覧・情報収集ができるようになっています。また、授業の一環として、正課内インターンシップ（5日以上就業体験）を実施しています。



常葉大学企業研究セミナー

3年生・短大1年生を対象とした本学主催の企業研究セミナーです。毎年250社を超える県内外の企業様にご出席をいただき、静岡・浜松の2会場で開催しております。地元とのつながりが強い本学ならではのセミナーです。



学内個別企業説明会

企業等の皆様にお越しいただき、学内において4年生・短大2年生を対象とした『個別の企業説明会』を実施していただく場を提供しております。会社説明や企業アピールの場としてご利用ください。申込方法等の詳細につきましては、常葉大学ホームページをご覧ください。
<https://www.tokoha-u.ac.jp/career/>



卒業生との交流

授業やガイダンスの中で、さまざまな分野の企業で活躍しているOB・OGから直接話を聞くことができる交流の機会を設けています。就職活動の方法や実際の業務内容などの情報を収集するとともに、1年次から参加することが可能なため、早い段階から『働く』ということに対する意識を高めることができます。



内定者によるアドバイス

内定を獲得した先輩たちが、就職活動の成功例や失敗談・心構えを教えてください。自分がめざす業界・職種の採用試験の面接対策やアドバイスを聞くことができ、就職活動の励みとなっています。

求人・インターンシップに関する問い合わせ先

▶ 静岡草薙キャンパス キャリアサポートセンター

〒422-8581
静岡県静岡市駿河区弥生町 6-1
TEL 054-261-4907(直)
FAX 054-261-2314(直)
E-mail syuusyo@sz.tokoha-u.ac.jp

▶ 静岡瀬名キャンパス キャリアサポートセンター

〒420-0911
静岡県静岡市葵区瀬名 1-22-1
TEL 054-261-1460(直)
FAX 054-261-2315(直)
E-mail syuusyo@sz.tokoha-u.ac.jp

▶ 静岡水落キャンパス キャリアサポートセンター

〒420-0831
静岡県静岡市葵区水落町 1-30
TEL 054-297-3218(直)
FAX 054-297-3220(直)
E-mail mz-csc@sz.tokoha-u.ac.jp

▶ 浜松キャンパス キャリアサポートセンター

〒431-2102
静岡県浜松市浜名区都田町 1230
TEL 053-428-2904(直)
FAX 053-428-3589(直)
E-mail hm-csc@ml.hm.tokoha-u.ac.jp

求人申込はこちら

<https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

地域貢献センター

地域に開かれた大学を目指し、教育理念の一つである「地域貢献」を組織的に促進するために平成30年に地域貢献センターを開設しました。さまざまな取り組みを通じて地域の活性化を図るとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を目指します。地域と大学を結ぶ連携の拠点として、地域社会の発展に貢献していきます。

常葉大学と地域との取り組み

専門分野を活かした 産官学および地域連携推進

- ▶ 企業・行政等との共同研究の推進、マッチング
- ▶ 産官学および地域連携を推進する事業の企画・実施
- ▶ 大学間連携の推進
- ▶ 自治体等における学識者としての派遣
- ▶ 自治体等との包括的連携の推進
- ▶ 地(知)の拠点としての情報収集と発信



公開講座・講演等 (生涯学習)

- ▶ 公開講座の実施
- ▶ 一般向けセミナー・講演会等の開催
- ▶ 高校へのお出前授業
- ▶ 科目等履修生、研究生、聴講生等の受け入れ
- ▶ 実習生の派遣
- ▶ 外部講師による授業支援
- ▶ 地域指導者による課外活動支援



学生活動支援 (ボランティア活動を含む)

- ▶ 学生ボランティアの要請に対する活動支援
- ▶ 地方自治体はじめ諸団体との連携活動支援
- ▶ 学生独自の地域貢献活動への支援
- ▶ 地域貢献プロジェクト(とこは未来塾-TU can Project-)への支援
- ▶ ボランティア活動を通じた地域リーダーの養成



PICK UP! 「とこは未来塾 — TU can Project —」

学生ならではのユニークな「視点と発想」をもち、「熱意と創意」に満ちた自主的・自発的な取り組みに対して、大学から教員アドバイザーによる助言や活動資金の援助などのさまざまな支援を行います。活動を通じて地域貢献を果たすとともに、学生の社会性醸成に繋がることを期待しています。



PICK UP! 「地域貢献活動の取組事例発信企画」

常葉大学ホームページにて、地域貢献活動の取組事例発信企画「常葉大学×SDGs—地域とともに持続可能な社会の実現へ—」を掲載しています。この企画では、持続可能な開発目標「SDGs」と本学教職員・学生が日頃から取り組んでいる活動を紐づけて紹介しています。各事例を契機にさらに多くの取り組みが生まれ、持続可能な社会の実現に貢献できることを願っています。ぜひご覧ください。



▶ ページはこちら

問い合わせ先

常葉大学 地域貢献センター

▶ 静岡 TEL 054-297-6142(直)
E-mail community@sz.tokoha-u.ac.jp

▶ 浜松 TEL 053-428-6748(直)
E-mail kouken@hm.tokoha-u.ac.jp



◀ 常葉大学ホームページ
(地域貢献)

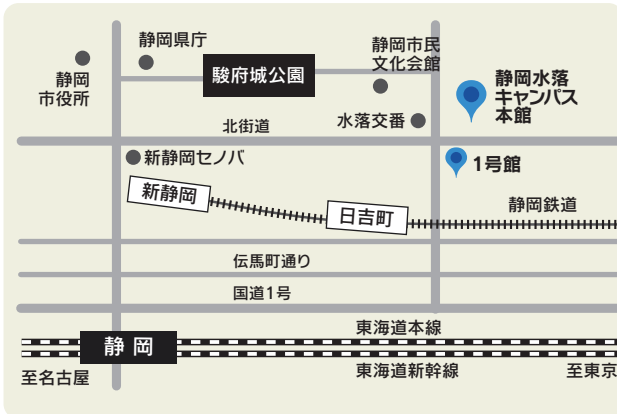


静岡草薙キャンパス

〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6番1号
TEL 054-297-6100(代表)

静岡瀬名キャンパス

〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名一丁目22番1号
TEL 054-263-1125(代表)



静岡水落キャンパス

〒420-0831 静岡県静岡市葵区水落町1番30号
TEL 054-297-3200(代表)



浜松キャンパス

〒431-2102 静岡県浜松市浜名区都田町1230番地
TEL 053-428-3511(代表)

法人内各校等

常葉大学附属常葉中学校・高等学校	〒420-8588	静岡市葵区水落町1番30号	054-245-5401
常葉大学附属橘中学校・高等学校	〒420-0911	静岡市葵区瀬名二丁目1番1号	054-261-2256
常葉大学附属菊川中学校・高等学校	〒439-0019	菊川市半済1550番地	0537-35-3171
常葉大学教育学部附属橘小学校	〒420-0911	静岡市葵区瀬名一丁目22番1号	054-263-1080
幼保連携型認定こども園常葉大学附属とは幼稚園	〒420-0805	静岡市葵区城北37番地	054-246-3712
幼保連携型認定こども園常葉大学附属たちばな幼稚園	〒420-0911	静岡市葵区瀬名一丁目1番17号	054-261-1746
常葉大学リハビリテーション病院	〒431-1102	浜松市中央区大山町3805番地	053-436-1304



<https://www.tokoha-u.ac.jp/>